

【国際経営学部 ディプロマポリシー】(卒業の認定に関する方針)

本学部は、建学の精神及びこれを具体化した教育理念に基づき、経営学を基礎として知・徳・体 が調和した全人的な人間を育成することを目指している。したがって、124 単位以上の単位取得および共栄大学学則に定める履修条件を満たした上で、以下の能力を身につけた学生に学位を授与する。

1. 幅広い見識を持ち、多様性を理解し、課題発見・解決するために考え抜くことができるとともにさまざまな人とのコミュニケーションを通して自分の考えを的確に表現できること。
2. 経営に関する知識や態度をもってすべてのことに誠実にあたることができること。
3. 文化的背景を異にする人々と協働し、国際社会の中において活躍できること。

【国際経営学部 カリキュラムポリシー】(教育課程の編成及び実施に関する方針)

本学部は、卒業の認定に関する方針に掲げる能力を備えた人材を育成するために、諸分野にわたる教養と自己開発能力の養成を目指す「基礎資質開発科目」及び実践的専門能力の養成を目指す「専門能力養成科目」の2つの科目群を設け、それらの科目については、次の方針に基づき体系的な教育課程を編成及び実施する。

1. 初年次教育を実施するとともに教養教育、語学・コミュニケーション、キャリア教育等とおして、幅広い見識や多様性を理解し、課題発見・解決する能力を身につける。また、文化的背景を異にする人々とコミュニケーションし、自分の考えを表現できる能力を身につける。
2. 経営学を中心とした専門能力に関する基礎的な学修をした上で、応用的な専門能力を身につける。
3. 上記のようなカリキュラムの有効性を高めるため、課題解決型授業やフィールドワークなどの現場を体験できる授業を展開し(現場主義)、国際社会で求められる実践的な能力を身につける。
4. 実施方法については、学習効果を高めるため、ゼミナールをはじめとする少人数教育を推進するとともに、アクティブラーニングをはじめとする学生の自立的な学修を支援する手法を活用した授業を展開する。また、卒業の認定に関する方針のうちどの能力が養えるのかについて科目ごとにシラバスに明記する。
5. 評価方法については、すべての授業科目のシラバスに、評価方法を具体的に明記する。

【国際経営学部 アドミッションポリシー】(入学者受入れの方針)

<養成したい人物像>

国際社会で活躍できる、経営感覚及び広い視野柔軟な思考をもち、自分の考えを表現できる「社会学力」を兼ね備えた人材を養成する。

1. 将来国内外において社会に貢献したいという高い志と情熱をもつ人
2. 経営学を自ら学ぼうとする意欲をもつ人
3. 誠実な態度で他と接することができる人

【教育学部 ディプロマポリシー】(卒業の認定に関する方針)

※2026(令和8)年度入学者より適用

共栄大学教育学部の教育研究上の目的に即し、124単位以上の単位取得及び学則に定める履修条件を満たしたうえで、以下の力を身につけた学生に学位を授与する。

1. 豊かな教養と論理的思考力を有し、広い視野や柔軟な思考で考察や行動ができる。
2. 教育学及びその周辺学問領域に関する基礎的な知識を有している。
3. 教育学上の科学的知見と実践的な経験を組み合わせ、日常生活や社会における活動に生かすことができる。
4. 社会人として、教育学の知見を活かし、誠実な態度で使命感・責任感をもって自己実現と社会貢献につとめることができる。
5. 多様な他者と協働して、よりよい価値や文化を創造することができる。

【教育学部 カリキュラムポリシー】(教育課程の編成及び実施に関する方針)

※2026(令和8)年度入学者より適用

共栄大学教育学部は、ディプロマポリシーに掲げる人材を育成するために、「教養科目」及び「専門科目(基礎・発展・応用)」から成るカリキュラムを設置し、次の方針に基づき、体系的な教育課程を編成し実施する。

1. 教養科目において、豊かな教養と社会性を涵養し学びへの意欲を喚起するため諸科学の知見に触れるとともに、論理的思考力、確かな表現力を身につける。
2. 専門基礎科目において、教育学を構成する基礎的な知見を学ぶとともに、社会の多様性を理解し、他者と協働して課題に向き合うための知識と方法を身につける。
3. 専門発展科目において、子どもや児童に対する働きかけや指導のありかた及びその方法を身につけるとともに、実習やグループワークで得た経験や身につけた専門知識技能をもとに将来の進路について考える。
4. 専門応用科目において、研究や考察を通して、既習の教育学の知見や技能を統合し活用して問題を発見し解決する具体的な方法を身につけ、より専門性の高い教育学の知見を身につける。
5. 自らを律し誠実な姿勢ですべての科目に臨み、確実に学習内容を習得する。アクティブラーニングなどの協働的な学びが多くなる専門発展・専門応用科目等においては、気品の模範の心で他者と高め合い、新しい価値を想像していくことができる。
6. 4年間を一貫する演習科目により教育学の知見を広く身につけながら、継続的に論理的思考力、確かな表現力を獲得させ、得た知見を基に問題の発見と解決を行う態度と方法を身につける。また、

一体感を醸成するための合同授業、きめ細やかな指導を可能とする少人数の履修機会をそれぞれ確保し、アクティブラーニングなど学生の自立的な学修を支援する手法を活用した授業を展開する。

7. 履修モデルを示し、自らが身につけたい資質に応じて科目を選択する機会を提供する。また、各科目で身につけることができる資質技能がディプロマポリシーのどの項目に相当するかについては科目ごとにシラバスに明記する。

8. 評価方法については、すべての授業科目のシラバスに、評価方法を具体的に明記する。

【教育学部 アドミッションポリシー】(入学者受入れの方針)

※2027(令和9)年度入学者より適用

<養成したい人物像>

1. 教えることや子どもに関心があり、教育に関する幅広い教養を身につけることを希望する。
2. 高い倫理観を持ち、すべてのことに誠実に、最後まで責任をもって取り組むことができる。
3. 周りの人にやさしい態度で接し、多様な他者と協働して新しいことを創造・創生することができる。

【教育学部 ディプロマポリシー】(卒業の認定に関する方針)

※2025(令和7)年度入学者まで適用

共栄大学教育学部は、大学の目的及びこれを具体化した教育理念に基づき、豊かな教養・市民性の涵養と、教師・社会人としての「生きる力」(実践力・教育力・人間力)の育成を目指している。これに即し、124単位以上の単位取得及び学則に定める履修条件を満たしたうえで、以下のような力を身につけた学生に学位を授与する。

1. 豊かな教養と市民性を有し、広い視野と柔軟な思考のもとに誠実な態度で事に当たること。
2. 教育への情熱と学び続ける向上心があり、教育的な活動・実践に取り組む力があること。
3. 他と協働しつつ地域社会の一員として適切に行動すること。
4. 教育への使命感・倫理観のもとに、専門的知識を適切に活用する力があること。

【教育学部 カリキュラムポリシー】(教育課程の編成及び実施に関する方針)

※2025(令和7)年度入学者まで適用

共栄大学教育学部は、ディプロマポリシーに掲げる人材を育成するために、「教養科目」「専門科目」から成るカリキュラムを設置し、次の方針に基づき、体系的な教育課程を編成及び実施する。

1. 「教養科目」を学修することによって、豊かな教養と市民性を涵養し、柔軟な思考と誠実な態度を修得するとともに、社会で生きるための基礎的な力を身につける。
2. 「専門基礎科目」を学修することによって、初年次教育やキャリア教育をとおして社会の多様性を理解するとともに、課題を発見し解決する力を身につける。また、子どもの心身の成長を支える専門的知識を修得するとともに、他と協働する力を身につける。
3. 「専門発展科目」を学修することによって、教育への情熱と学びへの向上心を修得するとともに、教育的な活動・実践に取り組む力を身につける。
4. 実施方法については、学習効果を高めるため、演習ゼミナールを基幹とする少人数教育を設けるとともに、アクティブラーニングなど学生の自立的な学修を支援する手法を活用した授業を展開する。また、ディプロマポリシーのうちどの能力が養えるのかについて科目ごとにシラバスに明記する。
5. 評価方法については、すべての授業科目のシラバスに、評価方法を具体的に明記する。

【教育学部 アドミッションポリシー】(入学者受入れの方針)

※2026(令和8)年度入学者まで適用

<養成したい人物像>

豊かな教養・市民性の涵養と、教師・社会人としての「生きる力」(実践力・教育力・人間力)を兼ね備えた教育者等の人材を養成する。

1. 教育分野において社会に貢献したいという高い志と情熱をもつ人
2. 教育学を自ら学ぼうとする意欲のある人
3. 子どもとふれあうことはもちろん、保護者や地域の人々と協働することに意欲のある人
4. 誠実な態度で他と接することができる人